

【遊びの経過】

天気の良い日は戸外遊びを楽しみ、芝生の上をはいはいや歩行などで移動することを楽しんでいる。また、園外にも出かけ自然事象を肌で感じたり、果物、植物、生き物に興味を示し指さしをしたり、触ってみたりする姿も見られた。

【ねらい】

落ち葉の感触を楽しみながら、戸外で遊ぶ気持ちよさを味わう。

【評価】・保育者や友だちと一緒に、落ち葉の音や手触りの不思議さなど落ち葉の感触を楽しみながら遊ぶ。

【0歳児の活動

★環境の構成

■保育者の援助】

- ★子どもたちが安全に遊べるよう、落ち葉に混じっている危険物を取り除く。
- ★赤・黄・茶色など色とりどりの木の葉が十分にある場を確保する。

○おち葉に興味を示す。



破れたよ。
【発見】

ひっぱってみよう。
【興味・関心】【没頭】

触ってみたいな。【好奇心】



かけてあげるね。
【人とのかかわり】

- 保育者も子どもたちと一緒に落ち葉に触れ、手触り、臭い、色彩、音などに興味を持てるような声かけをし、知らせていく。
- 落ち葉を口に入れないように、十分に気をつける。
- 「どうぞ。」「ちょうだい。」など保育者が子どもの動き、思いを言葉に代え、友だちとの関わりを楽しめるようにする。

★友だちとぶつかったりしないよう、十分な場所を確保する。

★落ち葉を入れる袋やバケツを準備する。

○落ち葉の感触を楽しみながら様々に遊ぶ。

投げてみよう。
【意欲】



ふんでみよう。【好奇心】
カサカサ音がしたよ。【発見】

やったあ。できた。
【満足感】

葉っぱ持ってきたよ。入れて。
【人とのかかわり】



動くとき音がするよ。
【興味・関心】



いいよ。【自己決定】

- 走る、はいはいをする、寝転がる、投げるなど保育者も楽しみ、子どもの様々な動きを引き出せるようにする。
- 遊びに入れない子どもには無理をしないようにし、傍で見守りながらそっと落ち葉を手渡し「カサカサ」「パリッ」など落ち葉の音や感触が感じられようにする。
- 投げる、集める、ちぎる等子どもたちが楽しんでいる姿に「わあ。すごいね。」「じょうずじょうず」等の声をかけ、満足感を味わえるようにする。

【考察】

たくさんの落ち葉に興味を示し、散らしたり破ったりする子どもや、落ち葉の上でかけっこやはいはいをする子どももいた。それぞれにしたい遊びを見つけ、落ち葉の感触を楽しむことができた。また、個々の活動だけでなく、友だちに落ち葉を渡したり、一緒にビニール袋に入れてみようとしたりと、友だちとの関わりも見られた。自然に触れて遊ぶことは、保育室内ではできない体験を味わうことができる。四季折々の自然に触れ、子どもたちの興味関心が広がるような環境を工夫していきたい。